

第13回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 中野区のまとめ（認識共有）

首長連合事務局

1 首長会議で認識が一致した事項（詳細な議事録は後日ホームページに掲載予定）

(1) 人材の流動化への対応について

職員の流出を前提としない長期的なスパンで整備されている従前の人材育成や組織運営の仕組みを根本的に見直すべき。

（提起された主な課題）

- ・入庁後10年以内の若手職員や定年が近い職員の退職が増えている。
- ・転職が容易な保育士や保健師、医師などの専門職の不足が常態化し、採用に苦勞している。
- ・採用機会の拡大やライフスタイルの多様化等により、近接自治体間での転職が増加している。

(2) 地域への飛び出しやすさの自治体間格差の是正について

職員が地域に飛び出せない一因は「時間がない」こと。余裕があるからこそその地域活動。首長が率先して仕事を減らすことや、窓口の開庁時間短縮等の仕事改革、テレワーク等の働き方改革を推進し、職員の負担を減らしていくことが必要。

（提起された主な意見）

- ・業務効率化・業務削減だけでなく、捻出された時間の使い方、充実のさせ方も重要。
- ・セキュリティの観点が必要だがあえて自宅や職場外でのテレワークを推奨する等により、職員と地域との交流機会を物理的に増やすための業務環境づくりも有効ではないか。

(3) 連合として“いま”応援すべき地域活動について

地域の課題解決に繋がる活動への参加を促すこと。

（提起された主な意見）

- ・首長の思いを職員に広め、地域の課題に対する共通認識を持つことが大事。
- ・地域自治についての取組・対応は、職員だけでなく、地域の人にも協力してもらうことが必要。

2 その他、決定事項

(1) 代表交代

- ・現代表の阿部長野県知事はR7.3.31をもって代表を退任。
- ・後任には三日月滋賀県知事と都竹飛騨市長（現代表代行）の2名が共同代表として就任。

(2) 「地域に飛び出す公務員を応援する制度の運用上の留意事項（案）」の承認

- ・岐阜市サミットでの合意を踏まえ、H30年制定の「望ましい『公務員の福業』ガイドライン（第1版）」に加えて、各自治体が地域の実情に沿った取組を行う際の参考資料として、別添のとおり承認。
- ・また、当該資料を基に意見交換するため、首長有志による総務省訪問をR7年度に計画する予定。

(3) 連合への加盟促進強化

- ・連合の加盟首長数が減少傾向であることに加え、特に女性首長や都道府県知事が少ないことから、今後、連合としての加盟呼びかけを強化。

(4) 次年度以降のサミット開催予定

- ・次回サミット（開催地は岐阜市サミットにて、栃木市に決定済み）の開催日はR8.1.17(土)・18(日)。
- ・次々回サミットの開催地は佐賀県嬉野市に内定。